

『五月人形』を飾る意味とは？

5月5日は「端午の節句」。端午の「端」は「はじめ」という意味で、もともと「端午」は5月最初の「午」の日のことでした。「午」という文字の音が「五」に通じることなどから、奈良時代以降、5月5日が端午の節句となりました。

また、端午の節句は「菖蒲の節句」とも言われます。江戸時代に入り武家の社会になると、「菖蒲」の音が武を重んじる「尚武」と同じであることから、武家の間で盛んに祝われるようになります。

五月人形とは、家の後継ぎとして生れた男の子の誕生を祝い、無事に成長して立派な大人になるようにとの願いを込めて飾るもので、立身出世を願って立てる鯉のぼりとともに、日本の伝統文化として親しまれています。

その代表は「鎧兜飾り」。武家社会では、鎧や兜を神社へ奉納し、安全を祈る習慣があったことから、鎧兜＝“身を守ってくれるもの”という願いが込められるようになり、家庭の宝である男の子を守るために鎧兜が飾られるようになりました。太刀や弓を合わせて飾ることも多いですが、これも武具という意味合いではなく、子どもを守るためのアイテムとして添えられています。太刀は光で“悪いものを避けるため”、弓と一緒に飾られる破魔矢が魔を破ると言われるなど、縁起の良いお飾りです。

五月人形には、男の子が将来病気や事故などに遭わないように“身代わりになって厄を引き受ける”という意味もありますので、子ども一人に一飾り用意するのが本当です。お下がりは、厄を引き継ぐことになってしまうので、良くありません。

とはいえ、鎧兜飾りを人数分用意するのはなかなか難しいですね。その場合は、小さなものでもいいので、子どもの人形に鎧を着せた「大将飾り」や、金太郎や神武天皇、鍾馗(しょうき)の人形を飾るのも良いでしょう。

役目を終えた五月人形は、本来は供養してあげるべきですが、父親の人形を子どもの人形と並べて飾るのは問題ありません。愛着のある五月人形を一緒に飾って、子どもの成長をお祝いしてあげるのもいいですね。



テイクアウトやデリバリーで外出自粛を乗りこえよう！



新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が求められている今、飲食店のテイクアウトやデリバリーの需要が高まっています。この状況に対応して、Google はスマートフォン向けアプリ「Google マップ」の検索枠の下部に、「テイクアウト」と「デリバリー」のボタンを表示させました(左図)。

これまででは、ユーザーがメニューの階層をたどってテイクアウトやデリバリーといった項目を探する必要がありましたが、持ち帰りや配達に対応している近隣の飲食店をワンタッチで検索し、営業時間やメニュー、連絡先などが確認できるようになりました。

アメリカでは一部の店舗で Google マップから直接注文が可能になっているようですが、今のところ日本ではその機能は提供されていません。けれども、店によっては注文サイトへのリンクが表示されます。

この情報は Google の検索によるものではなく、飲食店側自身が「Google マイビジネス」にログインして設定を変更することによって表示されます。業態の変更や、通常の営業時間は残したまま一時的な「特別営業時間」を表示することもできます。

また、Google だけでなく、食べログや Retty などのグルメサイトでもテイクアウトやデリバリー対応店舗の情報発信を強化していますよ。是非活用してくださいね♪



★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など
デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!
オリジナルデザインで更新しやすいホームページを!
今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル
ご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!

マデコムの Facebook への  いいね! お待ちしております



株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1
TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877
E-Mail : office@madecom.co.jp
URL : https://www.madecom.co.jp
発行 : 2020年5月1日
編集・作成 : 早川尚孝